

金沢市における市民参画によるまちづくりの推進に関する条例及び金沢市における土地利用の適正化に関する条例の改正骨子(案)に対するパブリックコメントにおけるご意見と金沢市の考え方(回答)

募集期間：令和元年12月17日(火)～令和2年1月15日(水)  
 意見数：8件(意見者数4人)  
 提出方法：電子メール

No.	ご意見の概要	金沢市の考え方
<b>1. 骨子案全体について</b>		
1	全体的に見て、昨今の問題が発生する背景として、特に、民泊等の中期に滞在する準市民的滞在者に対して、市民としての品性が問われていると思う。例えば、騒音やゴミ捨てなど準市民的滞在者のモラルが問題背景の1つになっており、彼らに対してどう指導し、協働的まちづくりへの参加を促していくかが問われているように思う。	今後とも、まちづくり条例の手続きを通して、住民の皆様と事業者等との良好な近隣関係の構築に努めることで、滞在者等のモラルの向上にも寄与していきたいと考えています。
2	観光地化する金沢に対して、「このままでは金沢は観光客のまちになってしまい、我々は住めなくなる。来て欲しくない。」という住民のクレームが、迷惑となりがねない施設を事前に排除する、まちづくり計画の策定に繋がっているのだと思う。都市計画のゾーニングと一体となり、落ち着いたまち、金沢の静寂をどう確保するかが問われている。	
3	自由な経済活動と地域の「住」環境及び観光都市と「住」環境との調和・バランスは難しい。都市計画のあり方として、用途地域の設定が周知されておらず、金沢市として各地区毎の全体像はあるのか又はそれが用途地域に反映されているのかを問いたい。	
<b>2. 「協定準備地区」の公表について</b>		
4	「3. 改正の背景」に記載されている通り早速、実施が重要であると思う。	今回の条例改正では、まちづくり協定の締結に至る前の段階において、当該地域の皆様がどのようなまちづくりを目指しているかを公表することで、事業者等と地域住民との良好な近隣関係の形成を図ろうとするものであり、速やかに運用を開始したいと考えています。
5	「まちづくり協定」の策定を検討している段階から、市がその地域名を公表することについては、非常に評価する。事業者は、多額の投資を行い、ビジネスを行うことに躊躇することとなり、結果的に、住民の生活環境を守ることができる。	
<b>3. 旅館・ホテル、簡易宿所を条例の事前周知が必要な施設に追加することについて</b>		
6	旅館等建設に関して地元説明会の開催実施を義務付ける対策は有効となる。ただその段階で説明を受けても、「建ててしまえばやりたい放題」になる事例が散発し、事前説明会に対して設置後、何が問題になるか、市民目線でサポートする体制が急務であると思う。市職員には頭数制限があり、建築建設関係OBや、自治体OBによる「業者のうその見分け方」支援などバックアップ体制が必要になるように思う。	今回の条例改正により、簡易宿所等を営もうとする際の近隣住民への事前周知や説明会の実施を条例に明記することで、事業者と地域との顔の見える関係を構築するとともに、市としても事業者への指導と地域のサポートに更に努めてまいります。 また、今後とも地域住民の皆様と連携しながら、地域主体のまちづくりの取り組みを積極的に支援してまいります。
7	町会として「まちづくり協定」締結までにしてきた取り組みとして、「宿泊施設計画の周知」と「住民説明会」を行ってきた。今後あるべきこととしては「校下まちづくり協議会の発足」、「地区住民と行政による継続的なまちづくりの取組み」、「金沢市まちづくりランドデザイン構想」が必要かと思う。	
<b>4. その他</b>		
8	「まちづくり協定」は、各町内会で内容が異なるため、地域の独自性を発揮できるが、協定策定には、概ね1年間もの作業時間を要するため、高齢の町内会役員は、肉体的、精神的にも負担となる。また、策定作業が翌年度に及ぶ場合、今年度の役員が(勉強会の開催を含めて)着手することにためらいがある。「まちづくり協定」の策定には、住民の熱意も必要だが、中心人物がいるのか、いないのか、それによっても異なる。1年間もかけて、「まちづくり協定」を策定しても、社会情勢の変化により、内容の変更(修正)をすることが見込まれる。将来の役員(更に高齢化した町会役員)が、対応できるのか心配である。 そこで提案だが、行政の方でまちづくり協定の内容を決めて、必要と思われる旧市内の地域を指定したらいかか。住民が希望する規制内容は、大きくずれないと思う。	まちづくり計画の策定は、地域の住み良いまちづくりの実現に向け、地域住民の皆様が我がまちのルールを自ら考えていただくこととしております。市といたしましては、今後ともまちづくり計画の策定や変更作業などに対し、出来る限り支援してまいります。